

大隅縦貫道「吾平道路」の開通を祝う



3月15日、「吾平道路開通記念ウォーキング大会」が行われ、地域住民など約800人が参加し開通前の新しい道路を楽しみながら歩きました。また、3月20日には、大隅縦貫道「吾平道路」開通式典が行われ、テープカットや通り初めなどで盛大に祝い、同日15時から供用開始されました。



高さ12cmのカンパチロウで鹿屋をPR



3月25日、鹿屋市観光物産総合センターで「かのやカンパチロウぬいぐるみキーホルダー販売記念イベント」が開催されました。これは、かのやカンパチロウの誕生10周年を記念して作られたもので、新たなお土産品として期待されます。同センターで1,500円で販売しています。

鹿屋女子高校の生徒がデザイン



3月18日、小鹿酒造(株)と鹿屋女子高校書道部・美術部が市役所を訪れ、新商品の発売を報告しました。これは、小鹿酒造が新発売する焼酎「華恋に舞」のラベルと化粧箱のデザインを鹿屋女子高校の生徒が行ったもので、生徒たちはこだわったポイントなどを説明していました。

カンパチでおもてなし



3月24日、クルーズ船飛鳥IIの大隅へのオプションツアーが催行され、古江地区住民等によるお出迎えや、かのやカンパチを使った昼食の提供などのおもてなしが行われました。

もったいないを譲りあう



3月19日、市役所別館でかごしま子ども食堂地域食堂ネットワークが主催する「第14回子ども食堂×SDGs×かごしまフードドライブ」の贈呈式が開催されました。

戦争体験者の話を聴く



3月14日、串良ふれあいセンターで「第7回あの日を忘れない」が行われ、串良地区の戦争体験者等との意見交換などを通して、参加者は戦争や平和について改めて考える機会となりました。

鹿屋女子高校 優秀な成績を収める



3月11日、全国商業高等学校協会が主催する検定試験全9種目で1級を取得し、スーパービジネスライセンスを受賞した鹿屋女子高校の北方花蓮さん(右)、澤田涼花さん(左)が市役所を訪れ、喜びを報告しました。同賞は全国でも約80人程度と非常に難易度の高いものです。

大隅地域の地域活性化に貢献



3月10日、大隅地域振興局で「おおすみの地域力表彰」の表彰式が行われました。本市からは、かのや中央四心会、輝栄牛会、王子町鉦踊り・銭太鼓保存会、岡本孝志氏の3団体1個人が受賞。様々な活動を通して地域活性化に寄与していることが評価されたものです。

今後のさらなる活躍を期待



3月19日、令和7年度鹿屋市スポーツ奨励金交付式を行いました。これは本市におけるスポーツ振興と競技力向上を目的としたもので、今年は西園悠選手、入田翔選手、入田将義選手、坂元桃選手、野口姫選手、野口耀選手、谷口絢飛選手が交付を受けました。

春の風物詩「柴かけ」



3月14日、串良町細山田の川原園井堰で早期水稲の始まりを告げる「柴かけ」が行われました。これは、マテバシイを切り出し竹で束ねた柴で堰を作り、水稲づくりに欠かせない水用水路に引き込む作業で、江戸時代から350年以上続く伝統行事となっています。

文房具を寄贈



3月12日、鹿児島県トラック協会から本市の新入学児童全員に対して、交通安全教材の贈呈がありました。これは昭和61年度から実施されており、今年は鉛筆、消しゴム、定規が贈呈されました。

全国で精一杯の演奏を



3月10日、フルートで全国コンクール等に出場する久保篤弘さん(鹿屋中)が市役所を訪れ、「支えてくれる人の想いも背負って、精一杯演奏したい」と抱負を語りました。

ハンセン病問題を考える



3月8日、リナシティかのやで「ハンセン病問題啓発講演会」が行われ、参加者は中山節夫映画監督による講演や大始良小児童による意見発表などに、熱心に耳を傾けていました。